

事業番号	11 08 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	建築物の安全・安心推進事業		部局	建設部	課・室	建築住宅課
			実施期間	S47～	E-mail	kenchiku@pref.nagano.lg.jp

### 1 現状と課題

- 令和2年（2020年）における住宅の耐震化率は85.5%、多数の者が利用する建築物の耐震化率は92.5%に留まり、長野県耐震改修促進計画（第Ⅱ期）で定めた目標に達していない状況
- 土砂災害特別警戒区域の指定箇所に多くの住宅が存在しており、また、吹付アスベストが施工されている建築物が、未だに多く存在している状況
- 地震後の余震等による二次的災害を防止するための被災建築物応急危険度判定の体制が、県内で発生する最も大きな地震による被害想定に基づく必要人数に達してなく、判定の体制が不完全な状況

### 2 事業目的

- いつ起こるか分からない地震や土砂災害、豪雪災害等に備え、県民の生命・財産と暮らしを守るため、災害に強い住宅・建築物の整備を図る。
- 地震時における二次的被害を防止するため、建築物における吹付アスベストの除去等を促進する。
- 地震後の余震等による二次災害を防止するため、被災建築物応急危険度判定の体制を整備をする。

### 3 事業目的を達成するための取組

- ①所有者の負担軽減対策
- 耐震改修工事への支援の拡充  
耐震改修工事の補助限度額を拡充し、所有者負担の軽減を図る。【100万円 → 150万円に拡充】  
建替による耐震化を促進するため、市町村に対し、除却補助制度の創設を推進する。
  - 情報発信による普及啓発  
県民への耐震改修の効果と必要性の周知、及び安価な耐震改修工法による負担減について集中的に情報発信する。
  - 特別豪雪地帯における住宅の克雪化に対する改修工事への支援
  - 災害危険住宅の移転等への支援、吹付アスベスト除去工事等への支援
- ②応急危険度判定士登録の促進
- 応急危険度判定士の登録要件の見直し  
判定士の更新登録要件について、有効期限及び顔写真のあり方を見直し、更新しやすい環境を整備する。
  - 応急危険度判定士の認定要件の見直し  
令和4年に判定士の認定要件を改正したため、新たに登録要件となった技術者等に周知徹底し、登録者の増を図る。

### 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①	除却補助制度の創設数	市町村	—	—	—	32	↗	35	△	建替えによる耐震化の促進のため、令和5年度に除却補助を創設。制度創設市町村数を1割増と設定	
②	応急危険度判定士登録数	人	1,494	1,506	↗	1,611	↗	1,700	△	県内で最も大きな建築物の被害想定に基づく、判定士の必要数は2,000人であり、5年で確保することを目標	

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年度	数値	年度	数値	年度	数値	年度	数値
1-2④	災害に強い県づくりの推進	住宅の耐震化率	%	2020 (R2)	85.5	2021 (R3)	86.7	2022 (R4)	87.5	2027 (R9)	95.0

### 6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	予算案		193,227		193,227	164,375	25.85
	要求		122,303		122,303	93,145	
R5年度	250	119,074	0	119,324	93,130		25.85
R4年度	250	136,404	△ 20,256	116,398	92,049	108,001	25.85
予算要求からの 主な変更点	住宅・建築物耐震改修総合支援事業について、能登半島地震を踏まえ、補助上限額、補助率の拡充及び補助件数の増加に伴い増額 被災建築物応急危険度判定事業における判定士機材購入費用について、ストック状況を勘案し減額 住宅・建築指導事業において、事業内容を見直し減額						

事業名	<b>建築物の安全・安心推進事業</b>	部局	建設部	課・室	建築住宅課
-----	----------------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
<b>1</b>	<b>住宅・建築物支援事業</b>	91,734 千円	79,556 千円	予算案 152,435 要求 81,205 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	【拡】住宅・建築物耐震改修総合支援事業	補助金	地震による建築物の倒壊から県民の生命・財産を保護し、災害時の被害の軽減を図るため、木造住宅等の耐震診断・改修を支援 【耐震診断(設計含む)：595件 耐震改修(除却含む)：291件】	
2	災害危険住宅対策事業補助金	補助金	土砂災害特別警戒区域に存する住宅について、除却・移転等を行う場合の費用に対し補助を実施し、危険住宅の移転等を促進 【除却：2件 建設：2件 土地購入：1件 敷地造成：2件】	
3	アスベスト飛散防止対策事業補助金	補助金	アスベストの飛散による健康被害を防止するため、多数の者が利用する民間建築物のアスベストの除去に対して補助 【除去：2件】	
4	克雪住宅普及促進事業補助金	補助金	豪雪地域に暮らす住民の雪下ろしによる負担軽減や事故防止のため、市町村が行う住宅の克雪化への支援に対して費用を補助 【融雪型：3件 自然落雪型：10件 雪下ろし型：10件】	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
<b>2</b>	<b>被災建築物応急危険度判定整備事業</b>	661 千円	595 千円	予算案 540 要求 595 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	被災建築物応急危険度判定整備事業	直接	地震による被災建築物の危険性を判定する体制を整備し、余震等による二次災害を防止するため、判定士養成講習会等を開催 【養成講習会：県下10会場開催】	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
<b>3</b>	<b>建築対策事業</b>	44,009 千円	38,923 千円	予算案 40,252 要求 40,503 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	住宅・建築指導事業	直接	建築物等の安全確保のため、建築確認及び完了検査の的確な実施と建築指導員の活用により違反建築物の防止・指導を実施 【建築確認：1,190件(R4) 完了検査：1,216件(R4) 違反パト：2回×10所】	
2	災害復興住宅建設等補助事業	補助金	令和元年東日本台風及び令和3年大雨により被災した住宅の復興（建設・購入、補修）支援のため、資金の借入れに対する利子相当額の一部を助成 【建設・購入：6件】	
3	宅地建物取引業指導事業費	直接	宅地建物取引業務の適正な運営と取引の公正を確保し、その健全な発達を促進するため、免許・登録事務、指導等を実施 【宅建業者：1,623者 取引士：11,651人】（R4現在）	